

広報

えびの

1

広報えびの1月号
2010 January
No.519
平成22年1月20日発行



年頭のごあいさつ [P2 — P3]

〈表紙写真〉1月13日、雪の中で遊ぶ加久藤小学校の児童。

広報えびのはホームページでもご覧になれます。
<http://www.city.ebino.lg.jp/>

謹賀新年



えびの市長
村岡隆明
Muraoka Takaaki

市民の皆様、明けましておめでとうございます。
皆様方におかれましては、すがすがしい気持ちで新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

2009年は、激動の一年でした。新年を迎えても新政権への不安や不満、経済浮揚に対する不透明感など、明るい話題がなかなか見つかからない現状があります。しかし、混沌とした時代だからこそ、先行きが不透明であるからこそ、逆に自分たちで新しい未来を切り開いていくチャンスと言えるのではないのでしょうか。

2010年は、えびの市制施行40周年を迎える年でもあります。私は今年を意識改革元年と位置づけ、過去のまちづくりの経緯を踏まえ、先人たちの熱い想いをつなぎ、未来に対する具体的な働きかけを起こす年にしたいと思っています。

国や県に対する要望を軽んじる気持ちは毛頭ありませんが、自分たちが汗をかき、知恵を絞り努力することで、自分たちのまちづくりを自分たちなりに責任を持って推進することが今一番大切な行動の一つだと感じます。私たちにとって一番幸せなことは何なのか、未来のえびの市にとって何が必要なのか、それが本当に分かるのは、政府でも官僚でもなく「えびの市民」だと思っております。

皆さん、周りを見回してください。すばらしい大自然、歴史のある文化や

祭り、そしてかけがえない人情あふれる人々……。どれを取っても、このまちにしかないこのまちの誇り、財産です。もっと磨けばすばらしい光を放つものばかりです。どう磨いたらよいのでしょうか。だれがその磨き方を知っているのでしょうか。それが本当に分かるのは、政府でも官僚でもなく……。そう、「えびの市民」なのです。外部の方々や見識者、アドバイザーのアイデアをいただいても、それを生かして着実に実行し、磨いていくのは、私たちえびの市民以外にはいないのです。つまり、私たちがこれまでと違った新しい行動を起こすことでしょうか、この状況を変えることはできないのです。

私は、このような視点に立って意識を変え、まちづくりの方向を変えていく、そのスタートの年をしたいと決意を新たにしています。そこには、市民の皆様や市議会議員の皆様のご協力は欠かせません。一人でも多くの市民の皆様とこの意識を共有し、一丸となつて新しい「えびの市」を創造していきたいと思っています。

最後になりましたが、今年も、市民の皆様への市政に対するなお一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。皆様のご健康を祈念いたしまして、新年のあいさつとさせていただきます。

※市議会議員長のあいさつにつきましては、えびの市議会だよりに掲載されています。

感謝の気持ちと
新たな決意を
胸に—**20** years old
[平成22年成人式]

平成22年成人式が、1月5日、市文化センターで行われました。式には、袴やスーツ、着物姿の新成人209人（男111人、女98人）が参加しました。

式前には、オープニングとして、小倉里恵さんのエレクティオン演奏に合わせて、新成人が中学生だったころの写真が、スクリーンに次々と流されました。部活動や体育大会などの懐かしい写真に、新成人の皆さんはとても喜んでいました。

式ではまず、上島太志郎さんと横手友紀さんに合わせて市民憲章を朗読。新成人を代表して、楠元みなみさんに村岡隆明市長から成人証書と記念品が手渡されました。

式で村岡市長は「ご成人お

めでどうございます。それぞれ皆さんがおかれている環境の中で、なすべきことをしっかりと見定めていただき、学校や職場、地域でのボランティア活動など社会貢献への参加、また、国や地方の政治に関心を持って、自分を生かす仕事に精一杯若い情熱を傾けてほしいと願っております」と式辞を述べました。

また、ふるさとからのメッセージとして、上江保育園の園児たちがかわいらしい舞踊を披露。最後に元気な声で「お兄さん、お姉さんご成人おめでどうございます」とお祝いのメッセージを贈りました。

最後に新成人を代表して川野さとみさんが「市長様ならびにご来賓の方々から賜りました激励と教訓のお言葉を肝に銘じ、より一層研鑽に励み、より良き社会人として精進することをお誓い申し上げますとともに、心からお礼申し上げます」と謝辞を述べました。

式典終了後も新成人の皆さんは、小・中学校の友人や家族と記念撮影をしたり、連絡先を交換したりして、久しぶりの再会を喜んでいました。新成人の皆さん、おめでとうございます。



黒江弘樹 さん
(上江中出身)

現在、農業の大学に通っていますが3月には卒業します。卒業後はえびので農業をする予定です。これまで親には迷惑ばかりかけてきましたが、早く恩返しができるようがんばります。責任の持てる大人になりたいですね。



藤本綾香 さん
(加久藤中出身)

私を生んで育ててくれた親には心から感謝しています。大人は自由だけど、責任が問われます。私は、これから成人を迎える人たちの見本となるような大人になりたいです。若い力でえびのを活発にしていけたらいいですね。



真添龍之介 さん
(真幸中出身)

4月から自衛官としてえびの駐屯地に勤務します。まだ大人になったという実感はありませんが、責任を感じながら少しずつ大人になれたらと思っています。社会人として、しっかりとルールを守る大人になりたいですね。



安田成美 さん
(飯野中出身)

親への感謝の気持ちを忘れずに、少しずつ親孝行していきたいと思っています。今しかできないこともあると思うので、何でも積極的に取り組んでいきたいです。仕事もプライベートも充実した1年にしていきたいですね。

01

上江中学校(新体操部)が競技力向上推進校に指定 生徒のさらなる活躍に期待



指定証の交付を受ける松井校長(右)。

上江中学校の男子新体操部が、平成21年度(後期)宮崎県中学校競技力向上推進校に指定されました。これは、宮崎県教育委員会が進める中学生の競技力向上の一環として指定されたもの。県全体の競技力向上を図るために、約1年間、支援費を交付するものです。この支援費は、遠征費や道具の購入費などに使われます。宮崎県内23校19競技を指定。市内では、上江中学校のみの指定

となりました。指定の条件は県大会優勝。同部は、昨年10月31日に宮崎県体育館で行われた県中学校秋季大会において、5年ぶりに団体の部で優勝。種目別の個人でも、優勝を総なめするなど、圧倒的な強さを見せました。昨年12月9日、西諸県教育事務所の勇美敏夫教育推進課長や宮崎県中学校体育連盟の小坂芳史理事長などが同校を訪れ、勇美教育推進課長から

松井優校長に指定証が渡されました。この競技力向上推進校の指定を受けて、同校では、「県大会での優勝はもちろん、九州大会や全国大会でもいい成績が残せるように、これまで以上の取り組みを行っていきたい」としています。現在、上江中学校新体操部には11人(1・2年生)が所属し、日々、厳しい練習に励んでいます。同部のさらなる活躍を期待しています。

■お問い合わせ先
市学校教育課(内線412・414)

02

上江中学校に感謝状 日常の人権学習が認められる



講座で意見を発表する生徒たち。

上江中学校では、年間を通じて、授業や集会などで人権に関する学習を取り入れていきます。これは、生徒だけではなく、保護者にも参加してもらう場合もあります。また、全国人権作文コンクールに多くの生徒が作文を提出するなどして、積極的に人権意識の高揚を図るための活動を行っています。これらの地道な活動が高く評価され、昨年12月8日に、法務省人権擁護局長および全国人権擁護委員連合

会長から感謝状が同校に贈られました。同校の教師は、「これまでやってきたことが認められてうれしいです。これからも教師と生徒が丸となって取り組んでいきたいです」と話していました。また、12月9日には、同校で「自分を好きになるためにメディアを読み解くちからをつける講座」が行われました。これは、「人権・同和教育外部指導者によるメディアリテラシー講座」の一環として、

日々受けている情報の中の男女差別に気づくための参加体験型の講座です。講師にオフィスピュアの高崎恵さんを招き、同校の2年生21人と教師が参加しました。講座では、漫画や雑誌を使って、男女共同参画社会とメディアについて考えました。参加した生徒は「今日の講座を受けて、差別をなくしていこうと思いました。今日学んだことを、広めていきたいですね」と話していました。

■お問い合わせ先
市総務課人権啓発室(内線350)

03

NEXCOグループと森林づくり協定を締結 美しく豊かな森林を次世代へ



「企業による森林づくり」協定調印式。

1月5日、宮崎県庁で、西日本高速道路株式会社九州支社および西日本高速道路サービス・ホールディングス株式会社(以下NEXCO西日本グループ)と、宮崎県、西諸地区森林組合による「NEXCO西日本グループつなぎの森えびの」整備・保全に伴う協定調印式が行われました。これは、加久藤ループ橋付近の市有林を活用して、企業による森林づくりを行うものです。具体的には、今年から

三か年かけて、7・9畝に広葉樹を植え、ヒノキ林については、間伐を実施してその中に広葉樹を植え替えて複層林に移行させます。また、市北部の玄関先として、里山の景観向上や地球温暖化防止などの森林が果たす役割に貢献するとともに、地域社会との交流を実施することによる地域発展を図るために活動するものです。今後は、グループ社員やその家族等による植樹祭を行

い、ヤマザクラ、モミジなどを植樹していきます。下刈めで、10年間計画的に整備していく予定です。森林は、きれいな水や空気の確保、災害の防止や地球温暖化の防止など、多くの恵みを与えてくれるかけがえのない財産です。この美しく豊かな森林を次世代へ引き継ぐため、さらには、地球環境を守るために、NEXCO西日本グループは、県や西諸地区森林組合とともに活動します。

■お問い合わせ先
市畜産農林課林務係(内線229)

04

平成22年えびの市消防出初式 市民の生命と財産を守ります



毎年恒例の一斉放水。

平成22年えびの市消防出初式が、1月10日、湯田橋下流河川敷で行われました。これには、はっぴ姿の消防団員や消防署員など約330人が参加しました。消防団員の皆さんは、分団ごとに規律正しい分列行進や通常点検を行い、点検長(市長)から服装や機械・器具の点検を受けました。また、長年にわたり消防活動に精励した消防団員の表彰も行われました。受賞者を代表して、昨

年、西諸支部操法大会ポンプ自動車の部で、えびの市代表として20数年ぶりに優勝した第3分団第1部の阿多健一郎長が「今後も、防火、防災活動はもとより、各種訓練などの消防技術の向上に努めるとともに、安寧秩序の保持、社会公共の福祉の増進におお一層努力します」と謝辞を述べました。毎年恒例の一斉放水では、33台の消防車と女性消防団の可搬ポンプが川内川に向かっ

て一斉に放水。今年は、分団ごとの一斉放水による出し物も行われました。湯田橋や河川敷には多くの見物客が訪れ、見事な一斉放水に見入っていました。この後、各部対抗の玉落とし大会も行われました。空気の乾燥や、火を使う機会が増えるなど、火災の発生しやすい時期となつていきます。火の取扱いは十分注意して、寝る前にもう一度火の元を確認しましょう。

■お問い合わせ先
市総務課防災対策係(内線313・316)



◎今月の一品 (ホウレン草のわさび和え)

レシピ

- 【材料 (4人分)】
- ホウレン草・・・160g
 - モヤシ・・・80g
 - ニンジン・・・40g
 - ちくわ・・・40g
 - みりん・・・小さじ2
 - 濃口醤油・・・大さじ1
 - 練りわさび・・・少々
 - だし汁 (昆布・カツオ)・・・小さじ1強

- 【作り方】
- ホウレン草はゆでて、4～5cmの長さに切る。ニンジンは千切りにしてゆでる。モヤシは根を取りさつとゆでて1、2か所切る。ちくわは縦切りにし、熱湯をかける。
 - 調味料を合わせ①と和える。



えびの市食生活改善推進員 鶴田きよ子さん

recipe

今月紹介するのは、えびの産のホウレン草を使った「ホウレン草のわさび和え」です。

ホウレン草がおいしくなる時期は冬。今がまさに旬の食材です。収穫前に低温にさらすこともしばしば行われ、この処理は「寒締め」と呼ばれています。

ホウレン草の濃い緑色のクロロフィル色素は、血中の毒素を解毒してサラサラの血液をつくりまします。また、緑黄色野菜の中でも鉄分や造血作用のある葉酸が豊富に含まれているので、貧血気味の方や妊婦の方は積極的に食べた方がいい野菜の一つです。

ホウレン草には、アクのもととなるシュウ酸が含まれていますが、水溶性なので、多量の水でゆでて料理することで、渋みを感じることはほとんどありません。

わさびがピリツときいたこの料理。今夜のおかずはいかがですか。



えびの四季彩色 Seasons Color of Ebino

京町二日市

写真／毎年多くの人でにぎわう京町二日市。

今年の京町二日市

日程	平成22年2月6日(土)・7日(日)
時間	6日：午前9時～午後6時 7日：午前9時～午後5時
会場	京町温泉駅前通周辺 ※なるべく公共交通機関をご利用ください。



ガイドの際、必ず携帯して説明に使う霧島山の写真。見事な写真はすべて永友さんが撮影したもの。

永友 武治さん

霧島山を知ってもらい 愛してもらいたい

Takeharu Nagatomo
ながとも・たけはる / 67歳 / 柳水流区
／霧島ネイチャーガイドクラブの副会
長を務める。津軽三味線、写真、山ガ
イドと趣味多彩。

「意外と、霧島山を知らない地元の人が多いようです。多くの市民の皆さんに霧島山を知ってほしいですね」と話すのは、霧島ネイチャーガイドクラブの副会長を務める永友武治さん（柳水流区）です。

島両県から、8人が会員となつて活動しています。永友さんは、写真が好きで山に行くようになったことがきっかけで、同クラブに入会しました。同クラブの主な活動は、毎月行う無料ガイドや、山学校、登山道整備等があります。山学校は、登山初心者の

方に、山を学んでもらおうと、平成20年4月に第1期生が始まりました。全16回にわたつて、座学と現地講座を行い、霧島山の登山ルートすべて（32ルート）を制覇します。現在3期生が卒業間近です。霧島山を囲む宮崎、鹿児島両県の7市町で認定を目指し

ているジオパーク。永友さんは、ジオパークガイド養成講座にも2度参加しました。「まだ私の知らないことがたくさんありました。霧島山のことを少しでも知って、ガイドに役立てたいですね」と永友さんは話します。

山に登るといふ永友さん。そんな霧島山が大好きな永友さんですが、まずは、自分たちの山だから知ろう、守つていこうという気運を高めていきたいですね」と話します。永友さんや同クラブの皆さんの活躍を期待しています。

がんばる！自治会

コミュニケーションを大切に した地域づくり

(榎田自治公民館)



昨年10月に実施した子ども会の芋ほり体験と焼き芋会。

榎田地区は、戸数31戸の小さな地区です。平坦で広々とした榎田地区の特徴は、地区の真ん中を広い県道が走っており、各世帯が離れて点在しています。また、日章学園九州国際高等学校や国際交流センターもあり、大変恵まれた環境にあります。

ように思えます。車社会になり、地区民同士で立ち話などをゆつくりとする光景はあまり見られなくなりました。これまで榎田地区では、9月の敬老会と4月の花見会と、年2回懇親会を開催してきましたが、より親ほくを深めようと、社会福祉協議会のコザエン事業で、榎田ふれあいコザエンを開設しました。皆さんは、自分のコザエンのように草を取ったり、できた野菜を自由に持ち帰ったりしています。10月には、子ども会の芋ほり体験と焼き芋会も実施しました。夏には、「焼き鳥と生ビールでうじょけん話を語つみる会」を企画して、大変盛り上がりました。

さらに進む少子高齢化に対しては、地区民同士のコミュニケーションがより大切です。これからはいろいろ工夫していきたいと思っています。



榎田自治公民館長 常森行男さん

◎自公連だより

※自公連・・・「自治公民館連絡協議会」の略称。

ジオパーク発掘調査隊

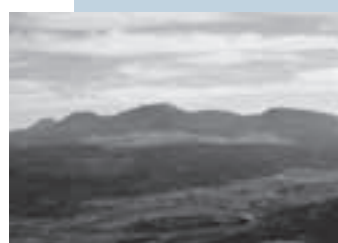
その4

今月は、「沢原高原」と、「夕すげを観る夕べ」を19年前から行っている湧水町の「吉松自然を考える会」を紹介しします。

沢原高原

沢原高原は、およそ1,000畝という広さを誇る九州で阿蘇に次ぐ大草原です。自衛隊の演習場にもなっており、毎年春には野焼きが行われ、春の風物詩ともなっています。

草原を形成する台地は、3万年ほど前に起こった飯盛山の噴火の際に流れ出た溶岩流からなります。付近には、溶岩小丘やテュムラス（溶岩塚）など、やや粘性の低い溶岩流の表面に特徴的な微地形が認められます。ここには、夕すげや



湧水町からえびの市にまたがる沢原高原（大原）

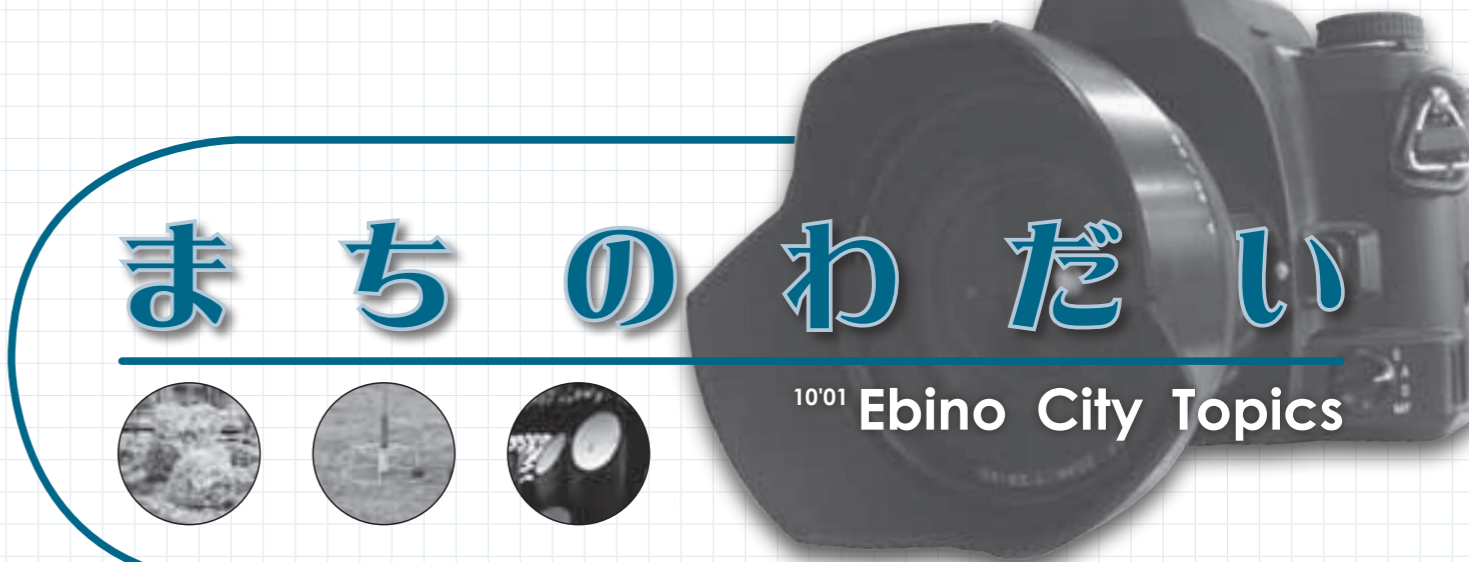
吉松自然を考える会

夕すげは、7月から8月に咲く淡い黄色の花で、名前のとおり夕方から咲き、翌日の昼にはしぼんでしまっています。

吉松自然を考える会では、この可憐な花と貴重な草原である沢原高原を多くの人々に知ってもらおうと、毎年7月に「夕すげを観る夕べ」を開催しています。今年で結成20年を迎え、学習会や八色鳥の森づくりなど、さまざまな活動に取り組んでいます。



夕すげを観る夕べ



まちのわだい

10'01 Ebino City Topics

手作りラックを贈る



えびのみどりの少年団の児童たち。

えびのみどりの少年団の児童たちが、12月25日、市内の郵便局にパンフレットなどを入れるラック(棚)を贈りました。これは、同団の児童たちが、間伐材のスギを使って作ったものです。同団の後藤綾乃さん(真幸小5年)が「産業文化祭でみんなで作ったので、大事に使ってください」と贈りました。加久藤郵便局の原山靖夫局長は、「みんなが一生懸命作ってくれたラックを大事に使わせていただきます」と謝辞を述べました。同団は、植樹や木工教室など、みどりや森林も守る活動に取り組んでいます。

地域とともに奉仕活動



地域ボランティアに雑巾縫いを教わる生徒。

上江中学校の生徒と地域コーディネーター、地域ボランティアの皆さんが、12月18日、花の植栽活動と雑巾縫いを行いました。これは、学校支援地域本部事業を活用して、地域への奉仕活動の一環として行われたものです。この日は、プランターに花を植え、上江簡易郵便局や上江地区体育館、学校前の道路に飾りました。また、女子生徒は、地域ボランティアの方々の指導を受けながら、雑巾縫いに挑戦。女子生徒は「難しかったです。地域ボランティアの皆さんのおかげで、コツが分かりました」と話していました。

警察署員とともにプレー



市民と一緒にプレーするえびの警察署員。

市長旗争奪「110番の日」ゴルフ大会が、1月8日、永山運動公園で行われました。これには市民のほか、警察署員、交通安全協会職員、防犯協会職員なども参加。合計84チーム、430人ものが参加しました。極寒の中の大会となりましたが、参加者は寒さをものともせず、元気よくプレーし、レベルの高いプレーをしていました。競技終了後には、えびの警察署員による講話が行われました。参加者は、交通事故や振り込め詐欺などの被害にあわないようにと、熱心に講話を聞いていました。

施設の掃除に役立てて



タオルを手渡す高齢者クラブ西部支部の皆さん。

えびの市高齢者クラブ連合会西部支部の会員が、12月21日、真幸小学校や福祉施設など10か所に、タオルを贈りました。これは、地域貢献活動の一つとして、何か人のために役に立てたらと、同会員が集めたものを贈ったものです。真幸小学校を訪れた同会の押領司勲会長は「このタオルを使って学校をきれいにしてください」と児童にタオルを手渡しました。同校6年の溝上大輔くんは「これを使って、もっと学校をきれいにしたいと思います」と話していました。このような取組みは、中部支部、東部支部でも行われています。

一年の無病息災を願う



パンパンッと音を立てて激しく燃え上がる炎。

新春恒例の「竹はしらかし」が、1月7日や9日に、市内各地の田んぼや河川敷で行われました。これは、一年間の無病息災と家内安全を願って毎年行われているものです。昨年末に子ども育成会や地区民によって組まれたやぐらに、七草祝いの子どもや厄年の人が火を放つと、炎は竹の弾ける音とともに勢いよく燃え上がりました。訪れた地区民は、小さくなった炎を利用して、もちを焼いて食べたり、酒を飲んだりしていました。焼いた竹を家に飾っておくと、魔よけになると言われています。

手作りのしめ縄で新年を



市長にしめ縄を贈る同センターの会員の皆さん。

社団法人えびの市シルバー人材センターの会員が、12月25日、市役所など10か所にしめ縄を贈りました。これは、市に対する感謝の気持ちと、同センターのPRのために贈ったもので、すべて会員の手作りのしめ縄です。一つ一つ気持ちを込めて作られたしめ縄は見事なものばかりでした。贈呈に市長を訪れた同センター会員の田中敏治さんは「皆さんに、気持ちよく新年を迎えていただけるように、一生懸命作りました。子どもたちにも、新年にしめ縄を飾るといふ伝統を知ってもらいたいですね」と話していました。

幻想的な雰囲気を楽しむ



幻想的な光を放つ竹とうろう。

グリーンパークえびので、1月11日、竹とうろうに火がつけられました。これは、平成18年7月の集中豪雨による災害からの復興と川内川のホタル復活を願って毎年行われている「みやんじょ温泉竹ホタル」の実行委員会から竹とうろうを引き継ぎ、昨年からは竹とうろうのものです。この日は、竹とうろう500本と、工場で不要となった空き缶500本にろうそくを入れ、火がつけられました。ゆらゆらときらめく竹とうろうの光はとても幻想的で、訪れた人々を楽しませていました。

information

お知らせ
コーナー

・お知らせ・

議会基本条例(素案)に対する
意見募集の結果を公表

平成 21 年 8 月 5 日から 9 月 4 日まで募集しましたえびの市議会基本条例(素案)に対する意見募集につきましては、貴重なご意見をいただきありがとうございました。意見提出者は 1 人(意見数 3 件、電子メールで提出)でした。

いただきましたご意見とそれに対する市議会の考え方を、市のホームページに掲載するとともに、市役所本庁 3 階議会事務局、飯野出張所、真幸出張所にて、平成 22 年 2 月 19 日(金)まで公表しています。今後、議会基本条例の最終案を作成し、平成 22 年 3 月議会に提出する予定です。

市議会解散等により、公表が遅れましたことをお詫び申し上げます。

☎ 市議会事務局(内線 360)

京町二日市ではハイハイ学校
に気をつけて

近年、京町二日市に合わせて「悪徳商法」的な店が進出し、被害にあった等の苦情が数多く寄せられています。いわゆる「ハイハイ学校」と言われるものです。「ハイハイ学校」とは、

- 二日市会場周辺にテント等を構え、路上で客引きを行います。
- 客引き時には無料で花等を配り、油断させてテント等に誘います(特に高齢者に声をかけま

す)。

- テントに入ったら、高額な商品売りつけられます。
- その商品を買わない限り外に出ることはできません。

このような誘いには決してのらないように十分注意してください。万が一被害にあった場合は、状況に応じてクーリングオフ制度等の対処策がありますので、下記までご連絡ください。

☎ 京町二日市対策本部

☎ 0984 - 35 - 1544

2 月 6 日、7 日の両日は、

☎ 0984 - 37 - 0042

宮崎県の最低賃金が
改正されました

宮崎県の最低賃金が改正されましたのでお知らせします。

【宮崎県最低賃金】= 629 円(発効日:平成 21 年 10 月 14 日)

【産業別最低賃金】

◎部分肉・冷凍肉、肉加工品、処理牛乳・乳飲料、乳製品製造業 = 656 円(発効日:平成 21 年 12 月 18 日)

◎電子部品・デバイス・電子回路、電気機械器具、情報通信機械器具製造業 = 687 円(発効日:平成 21 年 12 月 25 日)

◎各種商品小売業 = 669 円(発効日:平成 21 年 12 月 25 日)

◎自動車(新車)小売業 = 699 円(発効日:平成 21 年 12 月 20 日)

※宮崎県最低賃金は、パートタイマー、アルバイト等を含むすべての労働者に適用されます。ただし、産業別最低賃金の適用産業で働く労働者(適用を除外されている者を除く)については、産業別最低賃金が適用されます。

☎ 宮崎労働局賃金室

☎ 0985 - 38 - 8836

自死遺児支援のための
つどいを開催します

自殺者は年間 3 万人を超え、自殺で親を亡くした子どもたち(自死遺児)も増えてきています。そのため、どのように子どもたちと関わっていったらいいのか、これまで自死遺児支援に携わってきた民間団体の方や自死遺児の方のお話を伺うつどいを開催します。当日は、託児ルームも併設しますので、お子様がおいでの方も、ぜひご参加ください。

【開催日時】平成 22 年 1 月 30 日(土)午後 1 時~午後 5 時

【会場】宮崎市民プラザ 4 階ギャラリー

【対象】自死遺児支援に携わる方々

【定員】300 人(※無料) ※事前申込みが必要です。下記に申し込んでください。

☎ 自死遺児支援研修等事業事務局 ☎ 03 - 5776 - 0023

宮崎財務事務所の担当職員を
派遣します

九州財務局宮崎財務事務所では、財政や金融などに関する講演を行っています。皆さんの身近で起こりうる、振り込め詐欺等の「金融トラブルに巻き込まれないための基礎知識」や「多重債務問題」に関する講演のほか、以下に掲げるテーマに関する講演も行っています。

地区の会合や、会社、学校でのグループの会議・研修等で、話をお聞きになりたい場合は、担当職員を派遣しますので、お気軽にご相談ください。なお、講師派遣に費用はかかりません。

【主な講演テーマ】宮崎県(南九州)の経済状況と見通し、我が国の財政の現状と課題、私たちの預金の保護のしくみ、国有財産のご案内など

☎ 九州財務局宮崎財務事務所

総務課 ☎ 0985 - 22 - 7101

・相談・

経験豊富な臨床心理士が
相談に応じます

宮崎県臨床心理士会では、下記のとおり「第 11 回全国一斉こころの健康電話相談」を行います。皆さんのさまざまな心と行動の悩みについて、同会所属の臨床心理士が無料で電話相談に応じるものです。家庭のこと、学校のこと、職場のことなど、この機会に相談してみませんか。

【実施日】平成 22 年 1 月 31 日(日)午前 9 時~午後 5 時(※一日のみ)

【相談電話】☎ 0985 - 84 - 3400

・イベント・

生涯学習振興大会を
開催します

「学びあう 高めあう えびの市民」をテーマに、生涯学習振興大会が行われます。

当日は、市民の学習体験・学習成果の発表と、テレビでおなじみの住田裕子氏(弁護士)を講師にお迎えして、講演会を予定しています。市民の皆さん、多数お越しください。

【開催日時】平成 22 年 2 月 21 日(日)午後 1 時~

【会場】市文化センター

【内容】生涯学習功労者および生涯学習優良団体の表彰、学習体験・学習成果の発表、講演会(講師=住田裕子氏、演題=「次の世代へのメッセージ~今、私のできること~」)



住田裕子氏

☎ えびの市生涯学習推進会議事務局(市社会教育課)

☎ 0984 - 35 - 2268

女性の健康に関する
講演会を行います

平成 22 年 2 月 28 日(日)に行われるえびの市地域婦人連絡協議会主催の「婦人のつどい」

において、女性の皆さんにいつまでも元気でいていただくために、女性に起こりやすい乳がん、子宮がん、更年期障害などの講演会を行います。市民の皆さん、ぜひご参加ください。

【開催日時】平成 22 年 2 月 28 日(日)午前 10 時~午前 11 時

【会場】えびの市総合福祉センター

【内容】講演(講師=えびの共立病院黒木富士子先生、演題=女性特有のがんや更年期障害について)

【定員】50 人程度

講演会終了後には、えびの市地域婦人連絡協議会主催のバザーがあります。バザー会場では乳がん触診モデルを準備しますので、乳がんの感触を学んでみましょう。

【参加料】無料(ただし、参加を希望される方は、小林保健所まで電話してください)

☎ 小林保健所健康づくり課

☎ 0984 - 23 - 3118

119 だより

新春のお喜びを申し上げます

寒い日々が続いていますが、これからが冬本番です。空気が乾燥しやすいこの季節、火の元、火気の取扱い等には十分気をつけましょう。

昨年えびの市では、火災が 19 件発生し、建物火災は 12 件でした。また、救急は 736 件発生し、年々増加の傾向にあります。

気持ちを新たに新年を迎えるとともに、今一度、家庭や職場で火災予防と地震等の対処について話し合ってみてはいかがでしょうか。

12 月の活動状況 [えびの消防署管内]	火災	3 件	年計	19 件
	救急	72 件	年計	736 件

■えびの消防署 ☎ 0984 - 33 - 6119

110 だより

全席シートベルト着用を!

道路交通法の一部改正により、「全席シートベルト着用」が義務づけられています。後席シートベルトの着用で、3 つの危険からあなたと同乗者を守ります。

*衝撃の危険から後席のあなたを守ります。

◎後席乗員の致死率=約 1 / 3

*車外放出の危険から後席のあなたを守ります。

◎後席乗員の車外放出の危険性=約 1 / 7

*後席乗員の衝突から前席のあなたを守ります。

◎ドライバーの死亡重傷率=約 1 / 2

高速道路では、すでに取締りが実施され、違反をすると運転者に違反点数 1 点が科せられます。高速道路だけではなく、一般道路においても、全席シートベルトを着用してください。

12 月の交通事故 発生状況	人身	12 件	年計	111 件
	物件	34 件	年計	310 件

■えびの警察署 ☎ 0984 - 33 - 0110

心の一首一句

【短歌】

霧島の夜明けの霧の流れゆき
紫に耀ける今朝の清しさ

京町区 竹下妙子

原野から深山幽谷へ連なる霧島の山。分け入れば原生の大樹が聳立ち、その根方には湧き出づる泉があり人々は霧ふる里に住む。朝明けの霧の中に浮かぶ霧島山を拜する時、先祖の連綿と続いた命を思う。与えられた環境の中で「ひらすら生きる」ものは尊く美しい。

(自註)

【俳句】

身の丈の願い引つ提げ初詣

白鳥区 松山夢真

何事も自分の頑張りしで良くも悪くもなる。只々努力あるのみ。

(自註)

【詩】

歩
く

京町区 市田寛幸

太陽に向かって面を上げ
目線の上方の 白い屋根を見る
運動靴をカカトよりつけ
爪先で土を蹴り前へ進む
背筋を伸ばして歩けば カッコイイ
健康は二の次だと
カッコヨサを求めて歩いてゆけば
健康なんて
あとからトコトコ蹴っていく

あなたもつくってみませんか。

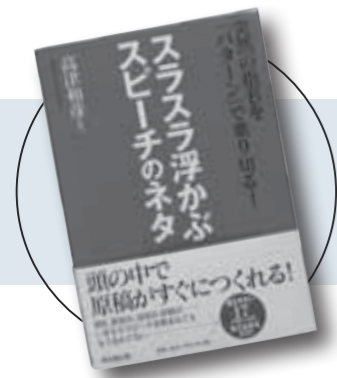
(短歌) 竹下妙子さん ☎ 0984 - 37 - 3056

(俳句) 阿野文雄さん ☎ 0984 - 37 - 1653

(詩) ポエム同好会 (市田寛幸さん) ☎ 0984 - 37 - 2528 まで。

ありますか、好きだと言える一冊が。

おすすめの 一冊



『スラスラ浮かぶスピーチのネタ』

高津和彦 / 著
(同文館出版)

突然指名されても、特に用意していないのにスッとこなし「うまく言うなあ」と称賛を浴びる人っていますよね。この本では、「話の組み立て方」を6つのパターンに分類し、分かりやすく解説しています。新聞記事、ことわざ、失敗談、マイブームなどを、パターンに当てはめ、組み立てるだけです。よくあるネタ本とはちょっと違います。あなたもこの本をテキストに、借り物ではない自分の話をして、人を感動させてみませんか。

BOOK CORNER

■推薦：市民図書館

Editor's

◎編集後記

明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願ひいたします。今回で7回目の成人式の取材。いつもとちょっと違い、少し緊張した取材となりました。というのも、10歳離れた妹が成人式だったのです。しかも、成人証書の代表受領という大役を妹がすることに。「大丈夫かなあ」と心配していましたが、何とか大丈夫だったようです。昔はクルクルパーマであんなにむじかった妹も、今ではすっかり大人気分。現在は学生中ですが、えびのに帰ってきて仕事をしたいと話します。兄としてうれしく思いますが、目標達成に向けてゲキを飛ばしたいと思います。(補元)

◎えびの市の人口

男性 / 10,176 人 (- 7 人) 転入 / 48 人
女性 / 11,507 人 (- 13 人) 転出 / 49 人
合計 / 21,683 人 (- 20 人) 出生 / 18 人

◎えびの市の世帯数

9,139 世帯 (- 2 世帯) 死亡 / 37 人

(平成 22 年 1 月 1 日現在)

今月の
納税

市県民税 第 4 期
国民健康保険税 第 7 期
2 月 1 日までに納めましょう。

いきいき!健康

Let's Lead A Healthy Life!



こころの疲れを解消しましょう

■高妻保健師 (健康保険課)

皆さんは、毎日を元気に笑って過ごしていますか?えびの市では、市民の皆さんが豊かな人生を送ることができるように、また、毎日元気に笑って過ごせるときを目指していますが、ストレス社会とも言われる現代では、こころが疲れぎみという人も増えています。そんな時、少しでも元気に笑って過ごせるようなポイントをいくつか紹介します。

①まずは休みましょう。

「休む」と言えば「睡眠」。睡眠は、時間より質が大切です。睡眠時間が短いからといって不眠というわけではなく、朝すっきり目覚めて、日中元気に活動できれば質の良い睡眠をとっていることとなります。また、昼寝は 30 分程度の短めがよく、夕方に軽い運動を取り入れると眠りに入りやすくなり、その深さも違ってきます。

②食事の時間をゆっくりとりましょう。

できるだけバランスの良い食事を 3 食とることが大切です。そして、家族や友人などと囲む食事は、

会話もはずみ、さらにおいしくなります。急いで食べるより、時間をかけてゆっくりと楽しく食べることもいい休息につながります。

③日常生活の中で、体を動かしましょう。

運動の習慣がない人が新たに運動を始めようとする、それがかえってストレスになってしまうことがあります。皆さんが日ごろ活動している中の動作でも立派な運動につながっていることはありませんか?例えば、炊事、洗たく、掃除などの家事仕事は、立ったり座ったり、手足を伸ばしたりと十分な運動につながっていることもあります。また、普段は車で走る道も、時間に余裕がある時は、自転車を使ったり、歩いたりすることで、ゆっくりと景色を眺めることができ、いい気分転換になります。

そのほかにも、疲れた気持ちをだれかに話してみるとすっきりして、こころが軽くなるかもしれません。自分自身がゆったりとできて、少しでも疲れがとれるような方法を見つけてみませんか。

水が汚れると、どうして困るの?

今回は、環境について考えてみようと思います。地球の約 70%を覆う水。地球が水の惑星と呼ばれているゆえんです。その 97.5%は海水で、淡水は 2.5%ほど。その中で私たちが使える水となると、0.01%と言われています。大気、海洋、陸の間で循環し、生まれ変わる水は地球上のいのちの源です。

水は自然の中で循環を繰り返しています。しかし、その中にいる人間がたくさんの水を使ったり、汚したりすると循環が悪くなり、私たちが使える水が限られてしまいます。

水を汚すことが与える影響

①汚れた水は地中にしみこみ、地下水まで汚してしまう②農業用水が汚れると、作物の育ちも悪くなる③生物の多様性も損なわれる④飲料水不足が世界中に広がるときれいな水に戻すために大きなエネルギーが必要

私たちが今日からできる水を汚さない工夫

くらしのメモ

台所では、①食事は必要な分だけ作る②飲み物は飲みたいだけ注ぐ③料理の手順を工夫して無駄なく水を使う④残った油はつき足して使う。使い切る努力をする。捨てる場合は新聞紙などに吸わせて捨てる⑤水切り袋と三角コーナーを使って、小さなごみも流さない⑥養分を含んでいるので肥料になる米のとぎ汁は植木の水やりに使う⑦食器は洗剤を使い、洗剤は適量を薄めて使う⑧油汚れのお皿は重ねないようにする⑨野菜のゆで汁などは鍋と食器の下洗いに使う

お風呂、洗たくでは、①髪の毛などは、排水口に目の細かいネットを張ってキャッチする②シャンプー、リンスは適量を守る③残り湯は洗たくや掃除に使う④洗剤はしっかり量って使う⑤まとめ洗いをする

少しずつでもやってみましょう。そしてみんなで私たちの地球を守りましょう。

くらしのアドバイザー：山内節子さん (坂元区)

ふるさと散歩

Furusato-sanpo

135

歌碑と京町温泉



老人福祉センターにある種田山頭火の句碑。

えびのの文学碑が市内10か所に設置されていますが、皆さんご存知でしょうか。今回は、京町温泉に所縁のある野口雨情、種田山頭火の句を紹介します。

野口雨情といえは、大正時代から昭和初期にかけて活躍した有名な創作民謡、童謡詩人です。代表作には、「十五夜お月さん」、「七つの子」、「赤い靴」、「船頭小唄（枯れすすき）」があります。野口雨情は、昭和四年四月二九日を最初に、3回ほどえびの市を来遊し、京町温泉郷を詠んだ句があります。「真幸京町別れが辛い霧が姿をまた隠す」（京町温泉駅歌碑）、「自然とは童心より生れて童心を

培ふ」（雨情の書・加久藤小学校）。雨情の生涯を記した「長久保片雲著書」には、「私の言う童心とは、『大人になっても忘れない純粹な子供の心』である。私は大人になってもこの童心を失わないでいられるから幸せだ」と甥の野口仁氏に話したと記されています。

また、種田山頭火のえびの市来遊は、昭和五年九月。九州地方行脚の「行乞記」に、「九月十七日曇り・小雨 宮崎県京町福田屋は豆腐屋と宿屋を営んでいた。そこのおかみさんの待遇は上の上」と記されていました。また、「九月十八日雨 飯野村中島屋」となっていますが、その当時、飯野大平

に木賃宿があったことは判明しましたが、屋号は不明です。山頭火が詠んだ句は行乞記に記されています。「このいただきに来て萩の花ざかり」（老人福祉センター歌碑）、「ありがたや熱い湯のあふるるにまかせ」（京町温泉広場歌碑）。

当時は、宮崎県下で唯一の温泉郷で、しかも先人たちが京都の街に遊びに行った時に、周囲をぐるりと山々に囲まれた風景が故郷に似ていたので京町と名付けられたとも言われています。

先人たちが名付けたとおり、いつまでも旅人に親しまれる京町温泉でありたいものです。

（文）市歴史民俗資料館・麦田勝